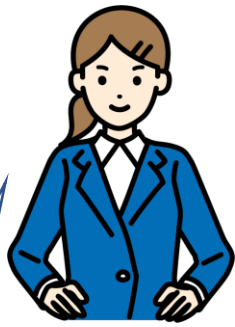
CYDER
Cyber Defense Exercise with Recurrence

実践的サイバー防御演習

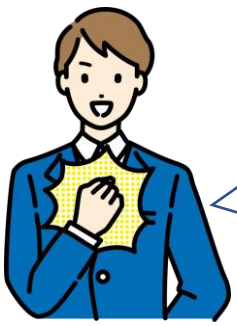
最近、サイバー攻撃を受けた組織のNewsを見かけることが多くなったよね…。

セキュリティ担当としては「これがうちだったら何が出来るかな…」って考えるけど悩ましいね…。

実は私も、「BCP（事業継続計画）」や「組織としてのセキュリティへの意識改革」が重要なのは理解していたけど、よくわからなくてずっと心配だったの。でも、いいものを見つけたわよ。



ケーススタディ２期は、
・「組織に潜むセキュリティの弱点」
・「攻撃に備えるための、技術的・運用的・組織的対策」
・「他組織を含むサプライチェーン全体で被害を防ぎ、業務を止めないための知識」
を分かりやすく説明しているから、組織的対策をじっくり考える材料としても使えそう。



過去の事例を学んで、それを教訓にしていくことは大切だよね。セキュリティ担当者だけでなく、幹部層にも勧めたい演習だね。

CSIRT担当、情報システム担当のみなさん、まずは試しに受講してみてください！

プレCYDER ケーススタディ　2期

9/1 開講

「閉域網神話の崩壊・甘い認識の代償編」を提供予定！

「インターネット非接続の閉域網だから安全」
「うちの委託業者は大丈夫」そんな思い込みはありませんか？
委託業者を起点に発生した、地域の重要医療機関へのサイバー攻撃（サプライチェーン攻撃）の実事例を通じ、侵入経路や運用の弱点、復旧までの全プロセスを追体験することにより、インシデント発生時の意思決定と組織対応を学ぶことができます。

CYDER
Cyber Defense Exercise with Recurrence

実践的サイバー防御演習

プレCYDER(ケーススタディ2期)概要

9/1
受付開始

受講可能期間	**2026/9/1 ~2026/11/13**
想定受講時間	2～3時間程度（複数回に分けて受講できます！）
難易度	基礎の基礎から学べます
学習方法	eラーニング＋ビデオガイド視聴
受講対象者	全ての組織の方
申込方法	CYDERウェブサイトにて、ID取得の上お申し込みください https://cyder.nict.go.jp/

※国の機関、独立行政法人、指定法人、地方公共団体の職員の方は、受講料はかかりません。集合演習と組み合わせても無料で受講できます。

※情報システム担当以外の方も受講可能。DX推進ツールとして活用できます。

お勧めポイント

セキュリティの基礎の基礎から学びたい方に最適です！

- **実際に起きた事例**をもとに具体的にポイントを説明
  →事件の内容を確認しながら、適切な対処方法だけでなく、自組織で必要な備えについても学べます。セキュリティの用語の理解も進みます。
- **短時間で要点を押さえられる**演習プログラム
  →10分程度の複数動画で構成。隙間時間に分割受講可能。
- **経験豊富な講師の丁寧な解説**
  →理解が曖昧だったことや、今更聞けない基本的なことを分かりやすく説明。動画内のクイズでテンポ良く理解が深まります。

＜お問合せ先＞
国立研究開発法人 情報通信研究機構（NICT）
ナショナルサイバートレーニングセンター
CYDER
Tel：042-327-5612　E-mail:cyder@ml.nict.go.jp